

住民主体で取り組む人生会議（ACP）啓発

～島根県飯南町～

#人生会議（ACP）

基本情報

人口：4,390人
 高齢化率：46.88%
 （令和6年5月1日現在）

概要

- 島根県飯南町来島交流センターにおいて、頓原地域婦人会主催、飯南町地域包括支援センター共催による終活・人生会議についての住民への啓発の取組を視察させていただきました。
- 地域住民の提案により、人生会議（ACP）の啓発について企画された取組です。

取組内容

＜当日のプログラム＞

- 飯南町地域包括支援センターによる、終活・人生会議（ACP）、認知症に関する講座
- 劇団「おばば座」による公演
 「だんだん私は幸せだったよ」と題して、終活・人生会議などについて、演劇を通じて、わかりやすく伝えられていました。
- 島根県による「いざじゃなくいま！しまねの人生会議」啓発展示

取組の背景、経過

- 飯南町では、住民が人生会議（ACP）に取り組む支援が行われています。（映画上映会の開催（令和6年度）、エンディングノートの啓発など）
- 最後まで住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるよう、保健・医療・介護・福祉が連携して支援するために、「飯南町地域包括ケア推進局」を保健福祉課・福祉事務所・飯南病院で構成し、行政組織の一つとして位置づけ地域包括ケアの取組を推進しています。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）

- アドバンス・ケア・プランニング（ACP：Advance Care Planning）とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や信頼している人、医療者などと繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと
- 厚生労働省では、ACPを身近に感じてもらえるよう「人生会議」という愛称をつけ、普及・啓発活動を行っている



住民主体で取り組む人生会議（ACP）啓発

～島根県飯南町～

#人生会議（ACP）

劇団おば座による公演



劇団おば座公演
「だんだん私は幸せだったよ」

日時：令和7年6月22日（日）
 午前9時00分 開場・受付
 午前9時30分 飯南町の終活・人生会議の情報提供
 午前10時00分 劇団おば座公演
 「だんだん私は幸せだったよ」
 午前11時30分 閉会

場所：来島交流センター みんなの広場

＊会場には、参考図書、エンディングノートなど展示しております。
 お気軽にご覧いただけます。ご相談にも応じます。

参加費無料・申し込み不要
 お問い合わせ先
 飯南町地域包括支援センター 電話：72-0980
 飯南町地域包括支援センター 電話：72-1770

主催：飯南町地域包括支援センター
 共催：飯南町地域包括支援センター

劇団「おば座」は平成21年に旗揚げされ、“笑いで元気に！”を合言葉に雲南市を拠点に活動されています。今回は「終活・人生会議」をテーマに公演されました。

島根県による人生会議（ACP）啓発展示



島根県「しまねの人生会議」啓発展示コーナーでは、人生会議のポイント等がまとめられた県作成のマンガやリーフレット等の展示が行われていました。

令和6年度に開催された映画上映会

保健福祉センター
 便り

自らが望む医療やケアのために

12月3日、来島交流センターで映画「ばけますから、よろしく願います。～おかえりお母さん～」の上映会を行いました。アルツハイマー病を患った妻、初めての家事と介護に奮闘する夫、離れて見守る一人娘がその姿を記録に残す、ドキュメンタリー映画です。当日は中高生からご年配の方まで、幅広い世代の方が来場し、会場全体が深い感動に包まれました。

映画のように住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活を続けていくことは誰もが望む姿。しかし、誰でも、いつでも命に関わる病気やケガをする可能性があります。命の危機が迫った状態になると、約70パーセントが医療やケアなどを自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなると言われています。

そこでお勧めなのが「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）＝人生会議」。希望する医療やケアを受けるには、大切にしていること、どこでどのような医療やケアを望むかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼

し合うだけでなく、記録に残しておくために、本町では「いきいき生きて逝くために」というエンディングノートの活用を推奨。もしもの時に備えて、自分の思いをご家族や近しい人と繰り返し話し合い、何度でも書き直しましょう。あなたとあなたの大切な人のために。

